

2024都立高校入試問題分析

市進学院

共通問題 国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 25点 大問4 30点 大問5 25点(記述 200字作文)

2024年度試験問題

受検者平均点 75.9点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
(1)	押した	A	2	問1	内容把握	B	5
(2)	根拠	A	2	問2	段落の役割	B	5
(3)	据えて	B	2	問3	内容把握	B	5
(4)	陳列	A	2	問4	内容把握	B	5
(5)	純粹	A	2	問5	200字作文	C	10
大問2	漢字の書き						
(1)	ヨウカン	A	2				
(2)	ソダてた	A	2	大問5	現古融合文		
(3)	キャクシツ	A	2	問1	内容把握	B	5
(4)	バイデン	A	2	問2	内容把握	C	5
(5)	サクラ	A	2	問3	発言の役割	C	5
大問3	小説文			問4	現代語訳	B	5
問1	表現方法	A	5	問5	文法(意味・用法)	B	5
問2	心情把握	A	5				
問3	心情把握	A	5				
問4	理由の説明	A	5				
問5	心情把握	A	5				
				※	は記述問題		

問題分析

- 1 漢字の読み 2 漢字の書き
3 小説文 4 論説文 5現古融合文

講評

- 基本的な問題が多いので、取りこぼさないようにすることが大切。
消去法による選択肢の絞り込みも有効。200字作文以外は全て選択肢問題。
- 1 漢字の読み 中学生で学習する漢字の範囲から出題
2 漢字の書き 小学校で学習する漢字の範囲から出題
- 3 心情把握は登場人物の動作、会話から情報を得ることも必要。
苦手な人は、直接書かれていないことを見落としがち。本文をよく探すこと。
- 4 作文は条件を守り、丁寧な字で書くことが重要。事前の練習が効果的。
完全な白紙状態は避ける。部分点の採点もあるので、書ける範囲で書く。
作文のテーマは「互いの思いを一致させること」。
- 5 古文を知らなくても現代訳を読めば、内容を推測できることが多い。
意味が分からないときは、繰り返し読んでみること。

難易度の表記

A:易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B:標準(落とせない) 目安→正答率70~60%
C:やや難問(含否を分ける問題) 目安→正答率50~40%
D:難問(1問でも出ればよし) 目安→正答率30~10%
E:超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下

共通問題 数学

配点 大問1 46点 大問2 12点 大問3 15点 大問4 17点 大問5 10点(記述2題)

2024年度試験問題

受検者平均点 61.7点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	関数		
問1	正負の数	A	5	問1	変域	B	5
問2	文字式	A	5	問2	直線の式	B	5
問3	平方根	A	5	問3	座標を文字で置く	D	5
問4	1次方程式	A	5				
問5	連立方程式	A	5	大問4	平面図形		
問6	2次方程式	A	5	問1	角度	B	5
問7	箱ひげ図	A	5	問2(1)	相似の証明	C	7
問8	円周角の定理	B	5	問2(2)	線分比	E	5
問9	作図(角の二等分線)	B	6				
大問2	規則性・文字式			大問5	空間図形		
問1	面積比	B	5	問1	切断面・角度	C	5
問2	文字式による証明	C	7	問2	四角すいの体積	C	5
				※	は記述問題		

問題分析

- 1 小問集+作図 2 規則性・文字式 3 関数 二次関数
4 平面図形 5 空間図形(分数のマークシートの順番は要注意)

講評

- 例年難しい大問5の間2が今年は易しかったので、平均点は昨年比+4.1点。
昨年とは同じ形式。大問1は配点が高いので、要注意。落とせない。
大問2の間2、大問3の間3、大問4の間2(2)が難しい。難関高志望者は要練習。
- 1 どれも基本的な問題。練習量を増やし、ミスを減らすこと。
箱ひげ図は今年初めて出題。統計分野は今後、要注意。
- 2 文字式を使った証明は慣れることが必要。過去問等を使って同じ形式の問題をどんどん実施して自信をつけよう。
- 3 関数は得点源。問1・問2は必ず得点したい。
問3は難問。自校作成校でも出題されるパターン。
- 4 図形問題は数をこなすことが必要。自分の頭で考える習慣をつけよう。
疑問点はそのままにせず、先生へ質問すること。
- 5 立体図形は「切り口の平面図」を描けるかがポイント。

共通問題 英語

配点 大問1 20点 大問2 24点 大問3 28点 大問4 28点(3文の英作文1題)

2024年度試験問題

受検者平均点 66.9点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	対話文読解		
問題A	対話文1 内容一致	A	4	問1	内容一致	B	4
	対話文2 内容一致	A	4	問2	内容一致	B	4
	対話文3 内容一致	A	4	問3	内容一致	A	4
問題B	Q1 内容一致	B	4	問4	内容一致	B	4
	Q2 内容一致記述	C	4	問5	内容一致	B	4
大問2	対話文読解			問6	通語補充	B	4
問1	通語補充	B	4	問7	通語補充	D	4
問2	通語補充	C	4	大問4	長文読解		
問3(1)	内容一致	B	4	問1	内容一致	A	4
問3(2)	英作文(3文)	C	12	問2	文整序	B	4
				問3(1)	内容一致	A	4
				問3(2)	内容一致	B	4
				問3(3)	内容一致	C	4
				問4(1)	内容一致	A	4
※	は記述問題			問4(2)	内容一致	B	4

問題分析

- 1 リスニング 2 対話文+英作文 記述は昨年と変わらず3文の英作文。
3 対話文 4 論説文

講評

- 総語数も減り、内容も昨年並みなので、易くなった
細かい文法よりも、丁寧に読む習慣を身に付ける必要がある。
- 1 リスニング 問題Aは易しい。問題Bが勝負。メモをしっかりとって聞こう。
- 2 資料を読み取りながら、対話文を読解していく出題傾向。
英作文は難しい表現は使わずに、文法のミスをしないことが重要。
「時制・人称・単数か複数か」がチェックのポイント。
事前に自分の書きやすい文の形を身に付けておくこと、安心できる。
- 3 通語補充 傍線部の前後にヒントや根拠があるので、注意して読むこと。
- 4 内容はそれほど難しくはないが、文章量が多い。過去問等を使い長文問題に慣れておく必要がある。

共通問題 社会

配点 大問1 15点 大問2 15点 大問3 15点 大問4 20点 大問5 20点 大問6 15点(5点×20問)(記述3題)

2024年度試験問題

受検者平均点 55.5点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	(3分野総合)			大問4	(歴史)		
問1	地形図の読み取り	C	5	問1	時代の古い順に並べる	C	5
問2	歴史上の法律	B	5	問2	江戸時代の海上輸送	C	5
問3	国会の種類	B	5	問3	江戸~昭和の出来事	C	5
				問4	戦後史	C	5
大問2	(世界地理)			大問5	(公民)		
問1	南温国	C	5	問1	平等権	A	5
問2	食文化	B	5	問2	消費税	D	5
問3	世界貿易	B	5	問3	SDGs採択の時期	C	5
				問4	成人年齢に関する記述	C	5
大問3	(日本地理)			大問6	(3分野総合)		
問1	資料の読み取り	B	5	問1	世界の国の歴史	C	5
問2	資料の読み取り	D	5	問2	G20サミット	B	5
問3	日常生活に必要な機能	B	5	問3	国連加盟国数	B	5
※	は記述問題						

問題分析

- 大問1・6 3分野より各1問。大問2・3地理 大問4 歴史 大問5 公民
地理分野の出題がやや多い。完答問題が多いので注意。
歴史古い順の並べ替えて差がつく。大きな時代の流れ等は覚えておく必要あり。

講評

- 記述が昨年比べて、1題増加。平均点は昨年とほぼ同じだが、昨年よりも平均的な問題が多く出題され、点差も開いた様子。
- 1 地形図と写真の問題は差がついた。過去問等を利用し、慣れておく必要あり。
問2問3は基本的な問題。
- 2 問1問2文中のキーワードに注目して、絞っている。
問3は近年増えている4か国の貿易に関する問題。
- 3 文中のキーワードに気付けるか?各県の特長を頭に入れて置くことが重要。
記述 自分なりに目的意識をもって考える習慣をつけることが大切
- 4 資料を見て、自分の頭で考える習慣をつけることが重要。
社会は暗記だけではないので、注意すること。
- 5 日本国憲法の条文は頻出。問2の消費税の問題は難問。
問3 SDGs関連の問題は近年注目されているので要注意。
- 6 問1 表から必要な情報を抜き出す。問2 リーマンショックとわかれれば答えは出せる。
問3 植民地はアフリカに多かったことを知っていれば易しい。

共通問題 理科

配点 大問1 24点 大問2 16点 大問3 16点 大問4 12点 大問5 16点 大問6 16点(4点×25問)(記述2題)

2024年度試験問題

受検者平均点 66.8点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問4(生物)	植物		
問1	化学反応式	B	4	問1	顕微鏡	B	4
問2	電力量	B	4	問2	呼吸・光合成	A	4
問3	動物の分類	A	4	問3	光合成	A	4
問4	原子のしくみ	A	4				
問5	気象観測	B	4				
問6	ヘモグロビン	A	4	大問5(化学)	溶解度		
大問2	レポートを読んで			問1	電解質	A	4
問1	化石の種類	B	4	問2	質量パーセント濃度	D	4
問2	酸化銅の割合	C	4	問3	塩化ナトリウムの性質	C	4
問3	光の屈折	B	4	問4	溶媒の質量	D	4
問4	食物連鎖	A	4				
大問3(地学)	地球と太陽			大問6(物理)	力学		
問1	南中高度	A	4	問1	作用反作用	B	4
問2	地球の自転	B	4	問2	平均の速さ	C	4
問3	太陽の一日の動き	C	4	問3	重力の分解	B	4
問4	夜の長さ	B	4	問4	力学的エネルギー	B	4
				※	は記述問題		

問題分析

- 1 各分野の小問集 2 実験レポートを読んで出題される各分野の問題
3 地学(天体) 4 生物(植物) 5 化学(溶解度) 6 物理(力学)

- ※4分野からまんべんなく出題されている。苦手分野を作らないことが大切。

講評

- 細かい知識も必要で、時間をかけて勉強する必要がある。記述が1題増加。
努力した生徒とそうでない生徒の得点差が開いた教科。
- 1 各分野の基本的な問題。
- 2 レポートを読んで答える問題。レポートから発展させる問題もある。
- 3 地球と太陽に関する問題。天体系は暗記だけでなく、原理原則をしっかり理解することが必要。過去問を使って学習すること。
- 4 植物の問題。基本的な内容。全問正解したい。
- 5 溶解度の問題 計算が入ってくると急に正答率が下がってしまう。
難関校受験者は問2問4で正解する力を付ける必要あり。
- 6 力学の問題。速さは資料から必要な数値を見つられたが勝負。
力学の分野も原理原則の理解が重要。疑問点は質問することが大切。